すまいる

Vol.33 はるごう

院長通信 ～糖尿病予備軍～

糖尿病予備軍の方が急増しています。コロナ禍による運動不足やストレスによる食べ過ぎで体重が増えるなど原因は様々ですが、現在、糖尿病の一歩手前、糖尿病予備軍（境界型糖尿病、糖尿病未症）の人が全国に約 1000 万人いると言われています。

尿検査で尿糖が（±）から（1＋）、血液検査でヘモグロビン A1c値が 5.6％以上、血糖値が空腹時に 110mg/dl 以上、食後に 140mg/dl 以上の方は糖尿病予備軍に当てはまり、数年後、糖尿病になる確率がとても高いので要注意です。

糖尿病になっても気付かず放置していても、ほとんどの人は 5 年程度無症状のことが多いです。目や腎臓、神経などの症状が出てきてから治療を受けても効果は不十分です。
また糖尿病予備軍でも、脳梗塞や心筋梗塞の発症率は糖尿病確定後と変わらないというデータもあります。
糖尿病予備軍の段階できちんと対策をすることがとても重要です。
健康診断や人間ドックで尿糖や血糖値の異常を指摘された方、糖尿病家系の方、早めにご相談ください。

ゴールデンウィーク休診日のお知らせ

4/29（金・祝）～5/5（木）
は**休診**です。
5/6（金）
から**平常通りの診察**です。

＼Instagram（インスタグラム）✿更新中です／

KITAOKACLINIC

↑OR コードから@kitaokaclinic へアクセス↑
ぜひフォローして下さい✨
当院のお知らせ・健康情報など載せております☻

スタッフ通信

朝晩はまだ肌寒いですが、
昼間は暖かくなり少しずつ
春に近づいているように感じます。
まだまだ1日を通して気温差があるので、
体調には気をつけましょう！！

看護師　小島

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科

(医)喜多岡医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	●	●	／	●	●	●	／
16:00～18:30	●	●	／	●	●	／	／

※受付は診療開始30分前からです

大阪市天王寺区大道3-1-23EMAビル201 TEL06-6771-8025

✿胃腸のお話　～逆流性食道炎～✿

　胸やけ、げっぷ、みぞおちの痛み、酸っぱいものが上がってくるなど胃の調子が悪いのに、
胃カメラやバリウム検査を受けても何も見つからない、そんな方はいらっしゃいませんか？
それは逆流性食道炎かもしれません。胃酸が逆流して食道が炎症を起こすこの病気が最近急増しています。
⑴ 比較的若年～壮年で早食い・食べ過ぎる・油ものをよく食べる体格の良い人で、
胃酸分泌が過剰になり逆流を引き起こしやすいタイプ。
⑵ やや年配で痩せ型から中肉の人で、食道と胃の接合部が緩み
ヘルニア（胃が上に滑脱する）になることで胃酸が逆流するタイプ。
　症状が長引くと、喉の違和感、声枯れ、慢性的に咳が出るなど
他の病気・症状を引き起こすこともあり、注意が必要です。
当院では症状に応じてお薬を処方しております。
症状があれば気軽にご相談ください。

当院での主な治療薬
【逆流性食道炎】

タケキャブ、ネキシウム
ラベプラゾール、タピゾール
ラフチジン、ファモチジン
ニザチジン

✿あなたの健康のために　～漢方薬シリーズ(1)～✿

　漢方医学とは、古来中国・朝鮮半島から入ってきた植物・動物・鉱物を原料とし、
いくつかの生薬との組み合わせにより日本独自に発展した医学体系です。
現在は、中医学（中国）・韓医学（韓国）とは異なる生薬構成になっています。
江戸時代にオランダから入った蘭医学を西洋医学と呼ぶのであれば、漢方は東洋医学と呼ぶこともあります。
　東洋医学は、人間が本来持っている自然治癒力を高め、患者さんを心身両面から治療する
全人的医療の考え方があります。そのため漢方薬は、冷え性や虚弱体質など体質に由来する症状や、
更年期障害やめまいなど検査に現れない症状の治療に効果があります。
また、生薬の組み合わせが変わると、薬効が増強されたり毒性が抑制されるなど
有効性や安全性が大きく変化するのが特徴です。
臓器や局部の治療に限定している西洋医学とは対照的と言えるでしょう。
　当院で処方できる医療用医薬品漢方は 148 種類です。よく処方される漢方ベスト5は、
①葛根湯（かっこんとう）　②五苓散（ごれいさん）　③乙字湯（おつじとう）　④苓桂朮甘湯（りょうけいじゅつかんとう）　⑤六君子湯（りっくんしとう）　です。
次回から漢方薬シリーズとして、当院で取り扱いのある漢方の解説をしていきます。